

- 1 派遣期日 令和元年8月1日(木)
- 2 研修先 学校名 新潟県上越市立春日小学校  
所在地 新潟県上越市大豆1-13-11  
<http://www.kasuga-c.jorne.ed.jp/>



【春日小学校グランドデザインより】

春日小学校では、生活科・総合的な学習の時間と他教科・領域との関連を図り、双方の指導の効果を高めるために「視覚的カリキュラム表」を活用しています。「視覚的カリキュラム表」は、4月、8月、2月の3回にわたって検討し、子どもの関心や課題意識に合わせてその都度修正していきます。

このカリキュラムの検討会には、学校運営協議会の方々にも参加していただき、具体的な実践上のアドバイスをいただいています。(春日小学校HPより)

### 3 研修内容

#### (1) 第2回 カリキュラム検討会の参観

- ① ワークショップ：各学年のカリキュラム中間検討・改善  
ア 春に作成した視覚的カリキュラム表(裏面資料1)

をもとに、1学期の実践を確認する。

イ 2学期以降の取組について情報交換を行う。

- ※ アイともに、話し合ったことが残るように、直接書き込みをする。話し合ったこと、書き込んだことを、カリキュラム表の修正に生かす。



【検討会の様子】

学校運営協議会委員(7名)が参加。それぞれが興味のある学年の話合いに自主的に加わっていた。

- ② 他学年のカリキュラムの検討

学年主任が2学期以降の構想を簡単に説明し、情報交換をする。最終的に自学年の方向性を固める。

右の写真で、立って説明しているのが学年主任。その右横に座っている女性と正面のめがねをかけた男性は、校運営委員会委員。



【メンバー交代した後の様子】

学年主任以外は、低・中・高のブロックでメンバーを交代して意見交換をしていた。学校運営協議会委員は、学年主任とともに学年に残って説明の補足をしていた。

#### (2) 学校運営協議会委員の話

グループ検討の後に、学校運営協議会の方から意見をいただく時間を設けており、以下のような意見があった。

- カリキュラム検討会に1年間関わっている。PDCAサイクルがよくわかった。

○ 「子どもたちにいろいろ体験させたい」という先生方の思いが伝わってきた。

○ あれもこれもと欲を出さずに、限られた時間でできることに取り組むことが、子どもたちの力になると感じている。大好きな子どもたちの力を伸ばしてあげてほしい。



【学校運営協議会委員の方々】

#### (3) 校長指導

検討会の最後に、学校長から「生活科・総合的な学習の時間の活動構想について」と題して、次のような指導があった。

① 学年活動構想のよさについて

○ 活動を繰り返すこと

各学年で体験活動を対象を代え、繰り返して構成されていることのもつメリット。

- ・活動を同列に繰り返すことから、学び方に習熟してくる。
- ・学び方に習熟することから、自分の学び方に安心感が生まれる。
- ・生活科・総合とも活動を繰り返すことから、問題解決的な学習の仕方が身に付いてくる。

② トライしてほしいこと

○ 視覚的カリキュラム表の課題は、活動の羅列であり、子どもの意識でどうつなげるかという根本には対応していない。2学期の活動をどう子どもが自ら動くように仕組んでいくのか、検討すること。

○ 活動のプランニングの場の確保はあるか。

○ 人に会う活動を行う場合、次の点に留意してほしい。

- ・その方に繰り返し会うこと。事実の確認から始まって、その方の人となり子どもが感じるには、質問事項をあらかじめ明確にして、繰り返し関わる必要がある。
- ・大人数だからといって避けてほしくないこと。他者に話を聞く場合、自分の学校に呼びつけて話をしろというのは、本来合ってはならないこと。場所を取ってそちらに来ていただく。無理であれば、本来は自分から行くんだよと人に会う場合のエチケットを指導してほしい。

○ 対象のもつ総合性に着目して活動を構成する。

③ 双方向のかかわり

地域の方をお願いすることは、逆に地域の方をお願いされたとき、どうするかということも問われる。

4 感想

(1) 検討会について

様々な年齢層のスタッフで学年が組まれていたが、若手の職員が積極的に意見を述べ、ベテラン職員と意見を交わしていた。

学校運営協議会の委員の方が各学年に入っていたが、学校職員との関係ができており、和やかな雰囲気情報交換をしており、「この時期なら〇〇さんが来られるな」など、総合的な学習の時間の活動に地域人材が有効に活用されている様子が窺えた。

(2) 視覚的カリキュラム表について

各学年で、資料1のような視覚的カリキュラム表が作成されていた。各教科の単元を1・2年は、「伝え合う」「見つめる」「思いやる」「地域」「義の心」、3～6年は、「伝え合う」「見つめる」「思いやる」「地域」「小中共通課」「義の心」と色分けして、その活動がどの教科や領域と関連があるのかが一目で分かるようになっている。

【資料1】

この視覚的カリキュラム表をベースに1学期の活動を振り返り、2学期以降の活動を検討していた。その内容を夏期休業中に修正をし、2学期以降実践をするというサイクルで、年3回の検討会を行っている。

初年度は大変な苦労があったことが想像されるが、ベースとなるカリキュラム表があることで、校内研修が充実していた。